

平成29年 6月 14日

大山町議会議長 杉谷洋一 様

議席番号

3 番

大杖 正彦



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
1)大山町観光局のあり方について	町長
一般社団法人の資格の観光局は民間で言えば一企業といえます。そうであれば、	
社団法人としての目標の達成と一定の利益を追求するための運営が求められます。	
一企業としての目標・組織・命令系統・責任体制などは万全かについてお聞きします。	
大山町は、町内商工産業の活性化を目標に「恵みの里」構想の一つの柱として観光事業を	
掲げています。個人事業主が多い大山の安定的な観光事業の発展や新町長の公約である	
「町民一丸となった開山1300年祭の成功」の実現には、目標に向かって組織が戦略的に動く	
ことが重要です。残念ながら、中長期的な目標＝観光ビジョンとその責任体制が不明確で	
組織が「バラバラに動いている」という市井の声を耳にします。	
恵みの里構想の中核としてできた「大山観光局」と聞いていますが、総会の資料を見ても	
経営戦略は不明確である。それは中長期ビジョンと責任体制の曖昧さに表れています。	
こうしたバラバラに動く組織では、町長の公約も然り、目指す大山の観光振興の実現は	
難しいのではないのでしょうか。	
本質問は、この大山観光推進の目的と、その責任主体を明確にすることが本趣旨である。	
そこで次の3点について質問をします。	
1. 大山町に於いて、大山観光の中長期的なビジョン立案の判断と責任主体は何処と認識し、	
具現化の実施主体は何処か。	
例えば、山の駅、こもれびと事業への大山観光局の係わりは。また(株)さんどうの役割	
について。	
2. 地方創生推進事業交付金決定の内容と予算は示されたが、町はどのように取り組み	
責任をもって実行する実施主体は何処になるか。	
3. 中長期的なビジョンを基に、各事業の費用対効果を検証する体制整備が必要と思うが、	
実施するとすれば何処が行なうか。	



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。
質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
2) 郷土を学ぶ授業について	教育長
新教育長に就任されたそのあいさつの中で、素晴らしい自然と歴史に恵まれた故郷を学ぶ教育を目指したいと話されました。	
「人づくりは町づくり」まさに、これからの素晴らしい新しい大山町を築くのは、子どもたちに他なりません。	
1.具体的にどのような授業で十分の生まれ育った地域の素晴らしさを子ども達に伝えるか、その方法についてお訪ねします。	
2.県教育委員会は、文科省令を受け教員の負担軽減の為、「部活動指導員」配置の方針、制度の問題など検討する課題は多いが、教育長はこの問題をどう捉えるか、また取り組む考えは。	
3.新町長は、所信表明演説で少子高齢化、人口減少対策施策の一つとして保育料の無償化を訴え予算化を考えています、0歳児は母乳そして親元で育てることが健康な子供に生育するという観点から、家庭保育児月3万円の支援を行なっていましたが、将来、健全・健康な子供に育てる方法として、教育委員会の見解をお聞きします。	

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。